

- を図ります。
- ・「学習ルール」を学年で統一します。
- ・話の聞き方、発表の仕方を身に付けさせます。
- ・言葉あつめや読書を通して、語彙を豊かにします。
- ・体験的な活動を多く取り入れ、自分の考えを広げら れるようにします。
- ・家庭学習(音読・国語・計算)の継続的な取組を通 して、学習習慣を身に付けさせます。

- ◎日常生活の中で、友達と仲良く過ごすことの大切 さを実感できるようにします。
- ・道徳の学習や日常生活の中で、助け合うことについて・休み時間は、外で遊ぶよう指導します。 考えさせ、実践する力を育てます。
- ・学年や異学年での交流を取り入れ、人との接し方を考 える機会をもちます。
- あったか言葉を使えるよう支援します。

- ◎運動する楽しさを味わわせ、進んで運動する 態度を身に付けさせます。
- 目標カードなどを使って、鉄棒、縄跳びなど の運動の能力を身に付けさせます。

関係者・保護者・関係機関等との連携

- ■専科や養護教諭、TA などとの連携・協力
- ・音楽、図書、養護の先生方と、適宜、児童の様子や出来事などの情報 交換をして学校生活が円滑に行われるようにします。
- ・ひまわり学級の先生方との情報交換を通して、支援体制を整えます。

■家庭との連携・協力

- ・保護者の読み聞かせや、学年行事の取組のお手伝いなどを通して、児童 の様子や学習内容を見ていただきます。
- ・学年便りや学級だよりを通じて、学校の予定や様子を正確に伝えます。
- ・緊急なことは、連絡帳や電話でお知らせします。